

施策名：障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進

事業名	担当課・室名	ページ
重度心身障がい者医療費給付事業	障害福祉課	2 / 9
障がい者福祉施設整備事業	障害福祉課	3 / 9
障がい者福祉施設耐震化等緊急整備事業	障害福祉課	4 / 9
在宅重度障がい者住宅改造助成事業	障害福祉課	5 / 9
相談支援従事者等養成事業	障害福祉課	6 / 9
障がい者スポーツ振興事業	障害福祉課	7 / 9
国際車いすマラソン大会開催事業	障害福祉課	8 / 9
共生のまち整備事業	建設政策課	9 / 9

事業名	重度心身障がい者医療費給付事業		事業期間	平成 5 0 年度～平成 年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし続ける社会づくりの推進
				施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	障害福祉課		評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	重度心身障がい者は健常者と比べ、恒常的な医療を必要とするケースが多く、経済的負担も大きい。	事業の目的	重度心身障がい者の医療費に係る経済的負担を軽減する。
-------	---	-------	----------------------------

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
重度心身障がい者の医療費に対する助成	医療費給付事業を行う市町村に対する補助	・平成23年度から市町村への事務費補助を廃止	総コスト	1,036,647	1,026,658	1,038,759
			事業費	1,035,647	1,025,658	1,037,759
			(うち一般財源)	1,035,647	1,025,658	1,037,759
			人件費	1,000	1,000	1,000
			職員数(人)	0.10	0.10	0.10

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	補助市町村数(市町村)	目標値		18	18	18		
実績値			18	18				
達成率			100.0%	100.0%				
	目標値							
	実績値							
	達成率							

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	市町村が助成した件数(レセプト件数)(件)	目標値		469,792	472,744			
実績値			469,792	472,744				
達成率			100.0%	100.0%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・医療制度の動向や他県状況等を注視し、適宜、制度の見直しを検討				

事業名	障がい者福祉施設整備事業		事業期間	平成 4 3 年度～平成 年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
				施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	障害福祉課		評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	障がい者が地域で暮らし働ける環境を継続的に充実していくため、必要なサービス提供基盤の整備が求められている。	事業の目的	社会福祉法人等が障がい者福祉施設を整備できるようにする。
-------	---	-------	------------------------------

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
障がい者福祉施設整備	障がい者福祉施設の施設整備を行う社会福祉法人等に対する補助(国1/2、県1/4、実施主体1/4) (共同生活援助3施設、就労継続支援A型1施設、就労継続支援B型1施設、福祉型児童発達支援センター1施設、障害者支援施設1施設 計7施設)	・補助金の申請書類や交付要綱等をホームページに掲載 ・各社会福祉法人等への照会文書をEメールで一斉送信	総コスト	80,162	121,305	473,551
			事業費	74,162	115,305	467,551
			(うち一般財源)	18,723	6,642	30,852
			(うち繰越額)	19,000	74,425	426,306
			人件費	6,000	6,000	6,000
職員数(人)	0.60	0.60	0.60			

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	実績値	5	4					
	達成率	100.0%	100.0%					
	目標値							
		実績値						
		達成率						

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	実績値	5	9					
	達成率	100.0%	100.0%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・障がい者が地域で暮らし働ける環境を充実させるため、今度も引き続き整備を実施				

事業名	障がい者福祉施設耐震化等緊急整備事業		事業期間	平成 21 年度～平成 27 年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
						施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	障害福祉課		評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	義務化されたグループホームのスプリンクラー整備が完了していない。	事業の目的	障がい者（児）福祉施設の耐震化整備、スプリンクラー整備を促進する。
-------	----------------------------------	-------	-----------------------------------

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
スプリンクラー整備	スプリンクラー整備を行う社会福祉法人への補助(1施設)	・基金の執行状況を半期ごとにホームページに掲載	総コスト	245,375	16,328	20,802
			事業費	235,375	6,328	10,802
			(うち一般財源)			
			(うち繰越額)			10,162
			人件費	10,000	10,000	10,000
職員数(人)	1.00	1.00	1.00			

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題	
								・義務化されるグループホームのスプリンクラー整備	
耐震化整備	耐震化整備	目標値	1				a		
		実績値	1						
		達成率	100.0%						
スプリンクラー整備	スプリンクラー整備	目標値		2	2		a		
		実績値		2					
		達成率		100.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果	
								・義務化されるグループホームにスプリンクラーを設置することができた。	
耐震化整備、スプリンクラー整備を行った施設累計	耐震化整備、スプリンクラー整備を行った施設累計	目標値	18	20	22		a		
		実績値	18	20					
		達成率	100.0%	100.0%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国通知により26年度末で事業終了。(26年度末着手分については繰越で事業実施) ・耐震化整備、スプリンクラー整備が必要な場合、障がい者福祉施設整備事業にて実施。 				

事業名	在宅重度障がい者住宅改造助成事業		事業期間	昭和 5 8 年度～平成 年度	政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
					施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課 (室) 名	障害福祉課	評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	重度心身障がい者 (児) の居住する住宅の設備が障がい者に適していない場合、在宅生活が困難であり、また、その障がい者と同居する者の介助の負担も大きい。	事業の目的	在宅の重度心身障がい者 (児) 又はその障がい者と同居する者が、住宅設備をその障がい者に適するように改造する経費を助成することにより、生活環境整備及び地域移行の促進を図る。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	2 5 年度	2 6 年度	2 7 (予算)
在宅重度障がい者住宅改造助成事業費補助	在宅の重度心身障がい者 (児) の生活に適するよう、住宅設備を改造する場合に、実施主体である市町村 (大分市除く) の経費 (補助額) の 2 分の 1 を助成 (1 2 市町村 2 4 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・他法令 (介護保険等) により助成を受ける場合の助成基本額を改定 (1 8 年度) ・在宅高齢者住宅改造助成事業対象者を本事業の対象者から原則除外 (2 2 年度～) ・他類似制度との均衡を図るため、所得制限の見直し (2 4 年度～) 	総コスト	3, 751	3, 336	4, 247
			事業費	2, 751	2, 336	3, 247
			(うち一般財源)	2, 751	2, 336	3, 247
			人件費	1, 000	1, 000	1, 000
			職員数 (人)	0. 10	0. 10	0. 10

活動指標	指標名 (単位)	達成度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	助成した世帯数 (件)	目標値	25	25	25		a	・地域住民に対する本制度の周知の徹底	
		実績値	26	24					
		達成率	104. 0%	96. 0%					
	助成を実施した市町村 (市町村)	目標値	12	12	12				
		実績値	12	12					
		達成率	100. 0%	100. 0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	助成決定 (採択) 件数 (件)	目標値	25	25	25		a	市町村が行う住宅改造助成事業の経費 (補助額) の一部を県が助成することで、安定的な事業運営ができています。	
		実績値	26	24					
		達成率	104. 0%	96. 0%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <p>・市町村障がい福祉担当者会議 (県主催) や市町村指導監査時に、広報誌への年数回の掲載やCATVの活用などを市町村へ依頼し、地域住民に対する本制度の周知徹底</p>				

事業名	相談支援従事者等養成事業		事業期間	平成 19 年度～平成 年度	政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
					施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課 (室) 名	障害福祉課	評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	障がい者が、保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスを総合的かつ適切に利用できるように、障がい者相談業務を行う相談支援従事者の養成及び資質の向上が求められている。	事業の目的	障がい者の相談業務を行う相談支援従事者の養成と資質の向上を図る。
-------	--	-------	----------------------------------

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
指導者養成研修派遣	指導者養成研修(厚生労働省主催)への派遣(3人)	・事業を(社福)大分県社会福祉事業団に委託	総コスト	2,223	2,116	2,211
相談支援従事者初任者研修	障がい者の相談業務を行う従事者養成研修の実施		事業費	1,723	1,616	1,711
相談支援従事者現任研修	受講者数：初任者研修242人(相談支援専門員コース：137人、サービス管理責任者コース：105人) 現任研修46人 委託先：(社福)大分県社会福祉事業団		(うち一般財源)			
			人件費	500	500	500
			職員数(人)	0.05	0.05	0.05

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
初任者研修受講者数(人)	目標値		250	250	250		a	・相談支援従事者の養成数増及びさらなる資質向上	
	実績値		248	242					
	達成率		99.2%	96.8%					
現任研修受講者数(人)	目標値		50	50	50				
	実績値		54	46					
	達成率		108.0%	92.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
相談支援従事者初任者研修(相談支援専門員コース)受講者累計(人)	目標値		1,538	1,644	1,750		a	障がい者の相談業務を行う相談支援従事者の養成と資質の向上が図られた。	
	実績値		1,514	1,651					
	達成率		98.4%	100.4%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針				
・国の実施要綱で県が事業実施主体となっているため、今後も継続して事業実施				

事業名	障がい者スポーツ振興事業 (大分県障がい者スポーツ大会開催事業)		事業期間	昭和 36 年度～平成 年度	政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
					施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課 (室) 名	障害福祉課	評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	障害の有無に関わらず、誰もがそれぞれの個性やニーズに応じた活動が楽しめるようなスポーツ・レクリエーションの振興と気軽に参加できる環境づくりが求められている。	事業の目的	障がい者のスポーツを通じた社会参加を促進する。
-------	--	-------	-------------------------

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
障がい者スポーツ大会開催	(個人競技) 陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング (団体競技) 車椅子バスケットボール、バレーボール、サッカー、ふうせんバレーボール、卓球バレー、ゲートボール、ツインバスケットボール、グラウンド・ゴルフ (個人・団体競技) ボッチャ 委託先：大分県障がい者体育協会	・大分県障がい者体育協会に委託	総コスト	4,800	4,900	5,200
			事業費	2,800	2,900	3,200
			(うち一般財源)	1,400	1,450	1,600
			人件費	2,000	2,000	2,000
			職員数(人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	実施種目数(種目)	目標値	16	16	17		a	・参加者の高齢化と若年層への参加拡大	
		実績値	16	16					
		達成率	100.0%	100.0%					
	参加市町村数(市町村)	目標値	18	18	18				
		実績値	17	17					
		達成率	94.4%	94.4%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	大会参加者数(人)	目標値	1,902	1,946	2,000		a	障がい者スポーツ大会の開催により、障がい者が競技等を通じ、希望と勇気を持って自立し、社会に積極的に参加する意欲を喚起するとともに、県民の障がい者に対する理解を一層深め、障がい者の社会参加を推進することができた。	
		実績値	2,584	2,502					
		達成率	135.9%	128.6%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・県下全域の障がい者の社会参加を促進するとともに、一部競技については、全国障害者スポーツ大会の予選会を兼ねているため、今後も継続して事業実施				

事業名	国際車いすマラソン大会開催事業		事業期間	昭和 56 年度～平成 年度	政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
					施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課 (室) 名	障害福祉課	評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	世界最大級の車いすマラソン大会として定着しているが、参加選手数は近年横ばい又は減少傾向にある。	事業の目的	スポーツを通じて障がい者の社会参加を促進する。
-------	---	-------	-------------------------

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
国際車いすマラソン大会事業	国内外の車いす使用者によるマラソン及びハーフマラソンの実施 (出場選手) 海外選手：13か国42名 国内選手：32都道府県191名 委託先：大分県障がい者体育協会	・開会式の簡素化 (県立総合体育館→ガレリア竹町) ・協賛金、寄付金受納式の廃止 ・参加料の徴収	総コスト	55,000	55,000	55,000
			事業費	25,000	25,000	25,000
			(うち一般財源)			
			人件費	30,000	30,000	30,000
			職員数 (人)	3.00	3.00	3.00

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
レース実施数 (競技)		目標値	2	2	2		a	<ul style="list-style-type: none"> 世界トップ選手の出場確保 参加選手数の維持 大会PRの強化 	
		実績値	2	2					
		達成率	100.0%	100.0%					
ボランティア説明会開催数 (回)		目標値	5	5	5				
		実績値	5	5					
		達成率	100.0%	100.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
参加者数 (出場選手数+ボランティア数) (人)		目標値	2,300	2,300	2,300		a	日本国内及び海外の障がい者に、希望と勇気を持って社会に参加する意欲を喚起することとともに、広く県民に障がい者についての関心と理解を深めることができた。	
		実績値	2,295	2,281					
		達成率	99.8%	99.2%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・国際大会として定着しており、引き続き開催				

事業名	共生のまち整備事業	事業期間	平成 3 年度～平成 年度	政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
				施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進
		事業実施課（室）名	建設政策課	評価者	建設政策課長 阿部 洋祐

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	高齢者、障がい者、児童などすべての県民が自立して生き生きと生活し、人と人との交流が深まる共生型の地域社会を実現するため、社会活動への参加を妨げる行動面での障壁を取り除くことが求められている。	事業の目的	高齢者、障がい者、児童などすべての県民が安心して快適に生活できるよう、県が設置または管理する既存の公共施設のバリアフリー化およびユニバーサルデザイン化を推進し、行動面での障壁を取り除くことを目的とする。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
歩道等の改良 県有施設の改修 交通環境の整備	段差解消、側溝蓋改修、視覚障がい者誘導用ブロックの設置等 通路のスロープ化、手すりの設置、多機能トイレの整備等 視覚障がい者用音響装置の設置、視覚障がい者誘導用標示の設置等	・整備箇所の優先度を整理し実施	総コスト	90,000	80,000	80,000
			事業費	90,000	80,000	80,000
			(うち一般財源)	9,000	8,000	8,000
			(うち繰越額)			
			人件費			
			職員数(人)			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
		目標値							
		実績値							
		達成率							

高齢者、障がい者等にとって社会活動への参加を妨げる障壁除去が推進され、共生社会への一助となっている。

[整備箇所数等]

工 種	平成26年度 施工箇所数等	平成26年度まで の整備箇所数等
歩道等の改良延長	2.7 km	209.9 km
県有施設改修箇所	10 箇所	234 箇所
交通環境整備箇所	8 箇所	982 箇所

【参考】 [整備箇所数等]

	平成25年度 施工箇所数等	平成25年度まで の整備箇所数等
歩道等の改良延長	3.2 km	207.3 km
県有施設改修箇所	15 箇所	224 箇所
交通環境整備箇所	9 箇所	974 箇所